

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 4-1-1	事務事業名 地方税電子申告システムの構築	所管部課 市民部 市民税課
----------------	-------------------------	------------------

施策コード 協2-2	施策名 地域情報化の推進	施策目標 人と人が出会い・対話する豊かな情報交流が生み出す、新しいかたちのコミュニケーション社会の創出をめざします。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	地方税ポータルシステム(エルタックス)の導入により納税者の利便性の向上、税務事務の効率化を図る。	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等	・個人住民税給与支払報告、法人市民税及び償却資産等について、納税者が電子による申告、申請・届出、納税が行える地方税ポータルシステム(エルタックス)を、関係する課による導入準備連絡会を設置し、平成22年度9月の導入を図る。 ・主な納税者は、法人及び税理士等である。 ・エルタックスへ接続するための審査システムは、外部委託により調達し実施する。	
	事業開始時期	平成22年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)			0	4,180	2,080	
	国庫支出金・都支出金						
	内:地方債	千円					
	訳:その他 ()						
	一般財源		0	4,180	2,080		0
	所要人員(B)	人		0.08	0.01		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	662	83		0
	臨時職員等賃金(C')	千円					
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	0	4,842	2,163		0
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (電子申告件数)	千円	#DIV/0!	5	1		#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	申告件数	目標値	件		135,977	135,977		
普及促進策(P R)	目標値	件		4	3			
(指標の説明 など) 電子化される現行の業務に係る申告件数(個人市民税特別徴収、法人市民税及び償却資産に係る申告及び届出の平成20年度実績件数)エルタックスの普及促進策の件数。								
評価指標の設定	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	一次 電子申告件数	目標値	件		887	3,547		
実績値		件						
二次 電子化率	目標値	%		0.65	2.61			
	実績値	%						
(指標の説明 など) (二次)電子申告件数を総申告件数で除した値。22年度は近隣市の実績により算定し、23年度は22年度を平準化した件数の2倍とした。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	法人及び税理士等からシステム導入の要望がある。
	事業実施上における制約や 財源確保等	平成21年10月より、公的年金からの特別徴収を実施するため、既にエルタックスに接続しており、電子申告の運用が出来る環境にある。近隣5市において平成22年度に導入を予定している。平成20年8月政府IT戦略本部が決定した重点計画2008において「早期に市区町村に参加拡大を図り、電子化を推進する」とされ、総務省は、地方交付税や個人住民税徴収取扱費交付金による財源措置を講じ、平成22年度までにエルタックスに参加するよう要請している。平成20年1月に給与支払報告書の機能が追加され、さらに23年1月に所得税の確定申告データの電子的送付(国税連携)も予定されており、エルタックス機能の拡充が図られる。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 地方税の電子申告システムは、唯一、社団法人地方税電子化協議会が提供するエルタックスのみである。

事業コード 4-1-1	事務事業名 地方税電子申告システムの構築	所管部課 市民部 市民税課
----------------	-------------------------	------------------

施策コード 協2-2	施策名 地域情報化の推進	施策目標 人と人が出会い・対話する豊かな情報交流が生み出す、新しいかたちのコミュニケーション社会の創出をめざします。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	<p>地方税務事務は地方税法に則った事務であり、市民の納税環境を整備することは市の責務である。</p> <p>本システムの導入により、煩雑な税務事務が簡素化されるなど、納税者の利便性向上が期待されるとともに、印刷製本費、郵送料、委託料、人件費等の経費削減による事業の効率化が見込まれており、利用者となる法人や税理士等から文書等により導入の要望があることから、事業の必要性は高い。</p> <p>総務省から平成22年度に導入するよう要請があり、財源措置が講じられていることや、機能の一部について運用が開始されているなど、事業を実施する条件も整っている。</p> <p>今後の課題として、本システムの電子納税の機能が試行中のマルチペイメントネットワーク(MPN)と重複するため、関係課と協議のうえ、電子納税の機能追加について検討する必要があります。</p>
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	3			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	<p>地方税ポータルシステム(エルタックス)を導入することで、納税者の利便性向上とともに、申告の電子化による税務事務の効率化が期待できる。</p> <p>システム導入に対する財源措置も講じられており、機能の一部について運用が開始されていることなどから、事業を実施する環境も整っている。</p> <p>システムの構築にあたっては、対象納税者に対してエルタックスの利便性を周知し、普及促進を図るとともに、今後予定されている機能追加なども視野に入れ、本市の電子システムと合わせた効率的な運用を検討する必要がある。</p>
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	